

研究プロジェクトの紹介

雷害対策研究会:P

日本の様々の雷現象による雷害を診断すると「雷はヘソをめがけてやってくる」を痛感します。たとえ避雷針があっても雷の電撃は漂誘導体(ヘソ)があると誘雷して被害をもたらします。雷現象は、電磁気学・放電工学・電磁波工学・電気電子回路学・EMC を用いて多角度の解析を要し、雷雨環境とその変動も十分に考察すべきです。

メンバーのひとり澤栗の実績は、雷害診断対策実施後無事故のものが8件、そのうち最長のものは20年以上

その他の研究プロジェクト [各プロジェクトではメンバーとテーマを募集しています]

プロジェクト名：略号	主査（技術士部門）	連絡先：E-mail
電気設備：D	大舘昌男（電気電子）	ohm-masa@rd6. so-net. ne. jp
教育指導：E	高見澤計夫（建設）	k_takami@ce. taisei. co. jp
ロジステイクス：L	奥田榮司（経営工学、総合技術監理）	ei ji_okudajp@yahoo. co. jp
ロボット技術：R	稲垣荘司（電気電子）	roboty@d3. dion. ne. jp
地震到来予知：Q	澤栗裕二（電気電子）	sgcsawa@ab. auone-net. jp

TDUG 平成26年度の行事		お知らせと募集	
平成26年	4月12日(土)	技術士2次試験対策講座	お知らせ ● 技術士サロン 隔月で役員会と同時開催しています。どなたでも参加可能です。開放的な雰囲気の中で様々な情報交換や交流がはかられています。一度、のぞいてみてください。
	4月16日(水)	技術士サロン	
	6月18日(水)	第7回役員会	
	8月20日(水)	技術士サロン	
	9月 1日(月)	第8回役員会	
-----（以下予定）-----		募 集	
平成27年	9月 27日(土)	東京千住キャンパス見学会(13:30 千住キャンパス集合、多数の会員の参加をお待ちしています)	● 会員の広場への寄稿 会報は会員の相互交流の場でもあります。皆様の技術士活動の情報、協力者の募集、相談事などを600字程度で寄稿ください。 会報の「会員の広場」に掲載させていただきます。 (会報第4号の締切:平成26年12月末) 連絡先:eiiji.okudajp@yahoo.co.jp
	10月15日(水)	技術士サロン	● 賛助会員 TDUGでは当会の目的に賛同いただき、ご支援いただける個人・団体を求めています。 参加いただいた場合は「賛助会員」として、その名を会員名簿に掲載させていただきます。 連絡先:tdugsa@yahoo.co.jp
	11月	第10回役員会	● 広 告 TDUGでは会報に相応しい広告を受付けます。企業PRなどに活用ください。 連絡先:tdugsa@yahoo.co.jp
	12月17日(水)	大学技術士会連絡協議会	
	2月18日(水)	技術士サロン	
	3月 1日(日)	第11回役員会	
	3月28日(土)	技術士サロン	
		第12回役員会	
		会報「第4号」発行	
		第2回総会	

■編集後記

6月北海道に行きました。稚内を中心に道北端を巡る予定でしたが、天候不順でJRは軒並み運休、バスは何とか動いていましたが、移動に大変な苦労を強いられました。日頃の便利さを痛感しました。

私は会社時代、物流システム(流通システム、各種工場、配送センタなど)の設計、製作に携わり、現在の豊かな生活を築くための一端を担ってきました。交通も広義の物流システムです。これらの社会インフラを実現する基礎は建設、機械、電気等の技術です。

TDUはこれらの技術分野に携わる技術者を多数送出、「技術は人なり」の精神で社会貢献しています。

を経過しており、8件の累計指導実績は100余年に達しています。しかし、雷雨環境条件から、無事故を保証できるまでの解析などは未だ確立出来ていません。

雷害対策のあり方を再検討し、高信頼性を確立して社会貢献に役立てたいと考えています。

主査 澤栗裕二
E-mail：sgcsawa@ab. auone-net. jp

現状会員 3名

平成26年(2014)9月 第3号

TDUG 東京電機大学技術士会 会報

【目次】

1. 東京電機大学 同窓会 会長からのメッセージ
(大学、中学・高等学校、電機学校)
2. 産業用ロボット最前線と国内外における標準化の現状
3. TDUGの活動状況
4. 研究プロジェクトについて
5. TDUG 平成26年度の行事
6. お知らせと募集

東京電機大学校友会公認団体
東京電機大学技術士会
東京都足立区千住旭町5番

TEL:03-5284-5140
FAX:03-5284-5187
E-mail:tdugsa@yahoo.co.jp

東京電機大学 同窓会 会長からのメッセージ (大学、中学・高等学校、電機学校)

東京電機大学技術士会(TDUG)が発足して一年を経過しました。今回は巻頭言に替えて、東京電機大学同窓会の三名の会長から、当会に対する希望、期待など、メッセージをいただきました。

東京電機大学同窓会 会長 柳田裕二

この度は会報第3号の発行、誠におめでとうございます。大学同窓会長、柳田でございます。平素は大学同窓会に対し並々ならぬご指導、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて最近の世界経済情勢を見ると、東南アジアを含め途上国の著しい産業の発展が見られる中、まだまだ中国、韓国などは日本が開発した商品や技術をコピーし、低賃金を背景により安い価格で大量生産して市場を奪う、いわゆる「キャッチアップ」で業績を拡大しています。

一方、我が国が今後の円熟した社会で生き延びるには新たな市場にない革新的な製品、サービスを生み出さなけれ

東京電機大学中学・高等学校同窓会 会長 渡辺 幸久

東京電機大学技術士会創設一周年おめでとうございます。幅広い技術分野においてそれぞれの資格を取得され、活躍されておられる技術士の諸先輩の方々に敬意を表する次第です。

本原稿の依頼を受けた折に、東京電機大学技術士会会報(第2号)をいただき拝読しておりましたら「技術士とは、技術士のメリット・技術士資格取得」のテーマで講演を行い、好評であった旨の記事を目にしました。我々東京電機大学中学・高等学校同窓会として貴技術士会に希望することは、まさしく将来の職業教育のことであります。現在中学校、高等学校では「人間らしく生きる」という旗を

東京電機大学 電機学校同総会 会長 窪田輝巳

東京電機大学技術士会設立一周年を迎えられ、又会報3号の発行までに進められた事、誠に慶賀の至りで御座います。心よりお目出度うと申し上げます。澤栗会長を始め、会員一丸となって努力された「賜」と思います。頭脳集団でありますから、会員の皆様方はそれぞれ計画や運営方法については計算をして居られる事でしょう。

ご存知の様に、日本は昔から資源のない国として過ごしてきました。それを補っていくためには、技術しかありません。技術の発展で日本は潤っていくでしょう。沢山の日本の人達ももっと理工系に目覚めて、一人でも多くの技術者が世に出る事が肝要であると強く声を張りたいのです。その指導に当るのも技術士の仕事ではないかと思っています、技術士になる事は、理工系の人達にとっては皆羨望の的

ばかりません。その点日本の技術者の質は高く、新たな産業を先導する能力は世界的にも優れています。また日本の技術士制度は、特に資格試験において「過去7年以上の業務経歴」の修得内容も厳しく吟味されると聞いております。これは日本の誇るべき制度であると思っ

ております。いまこそTDUGの皆様の方が必要とされております。今後とも新規会員の発掘にご尽力いただき、TDUGが日本の産業界の牽引役として、また日本技術士会のリーダー的存在となるよう大いに活躍されることを望みます。

たてそれぞれの生徒に6年後の飛躍が引き出せるような技術者の育成をしております。中学校においては「職業体験」の時間に、高等学校においては「キャリアガイダンス」の時間に「技術士とは、技術士のメリット・技術士資格取得」のお話をさせていただくことにより、技術の素養をもった多くの若者に「技術士」が将来の職業として大変有望であることの理解が深められ、同時に夢と希望を抱くことができるようになると思われます。

そのような取り組みを通し若い技術士の育成が図られ、将来益々技術士会が発展することを期待しております。

東京電機大学 電機学校同総会 会長 窪田輝巳

であります。そして技術士の資格を取得する事は、並大抵の努力では合格出来ない事は誰でも知っているでしょう。技術士の仕事についてもっとPRする必要もあるでしょうが、私は技術士の資格を取得するための方法、例えば勉強の仕方とか、最も有効な書籍等の紹介をする事も、若い技術者の卵のためには大事なことだと思います。

最後に、昨今世の中を騒がせている原子力発電ですが、聞くところによると原子力のオーソリティーが日本には殆どいないという事です。技術士の皆様が原子力の道を育てる事も考えていただき、今の惨状を一日でも早く救ってあげて欲しいのです。この件は切にお願い致したいところです。貴会の益々の御発展をお祈り申し上げます。



